

令和2年度第6回遠野市総合計画審議会

一 議事概要 一

(開催要領)

1 日 時 令和3年3月24日(水) 午後1時30分～午後3時10分

2 場 所 あえりあ遠野 交流ホール

3 出席者

(1) 委員

会長	及川 増徳	一般財団法人遠野市教育文化振興財団理事長
副会長	新里 佳子	TKプロジェクト実行委員会監事
委員	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	千葉 和	NPO法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	佐藤 正市	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員
委員	井手八重子	花巻農業協働組合理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	三浦 芳昌	遠野市観光協会会長
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小向 敏夫	遠野市校長会会長
委員	小笠原正剛	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	佐々木浩章	遠野テレビ
委員	相高 宏太	遠野ひまわり基金法律事務所弁護士
委員	備前 修	遠野市金融団
代理	石木田浩美	県南広域振興局 経営企画部企画推進課長
欠席	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
欠席	藤山重理子	遠野市PTA連合会監事
欠席	赤坂 康紀	遠野市郷土芸能協議会会長
欠席	佐々木栄洋	地域づくり団体

(2) 遠野市

市長	本田 敏秋
副市長	飛内 雅之
教育長	菊池 広親
総務企画部長	鈴木 英呂
経営管理担当部長	菊池 享
健康福祉部長	菊池 寿
子育て応援部長	佐々木一富
産業部長	中村 光一
プロジェクト担当部長	阿部 順郎
環境整備部長	奥寺 国博

市民センター所長	小向 浩人
消防本部消防長	三松 丈宏
教育部長	伊藤 貴行
会計管理者	鈴木 純子
市民センターこども本の森拠点整備室	佐々木真奈美（文化振興担当部長代理）
総務企画部総務課長	白岩 克己
総務企画部財政担当課長	海老 寿子
総務企画部政策担当課長	新田 正宏
総務企画部政策担当	箱石 奈央・佐々木利幸・阿部 隼人

1 開会

○新田政策担当課長

本日は、お忙しい中、遠野市総合計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和2年度第6回遠野市総合計画審議会を開会します。私は、総務企画部政策担当課長の新田と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。なお、本日は、遠野テレビが取材に入っております。ニュースで放送予定でございますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

本審議会は、各団体から推薦のあった委員の皆様で構成しておりますが、役員改選により、新たにご推薦いただいた方をご紹介します。一般社団法人遠野青年会議所 小井口幹様です。（小井口氏が、その場で起立）小井口様は、小笠原正剛前委員の後任として、令和5年4月30日までの任期となります。どうぞ、よろしく願いいたします。

それではここで、市長からご挨拶申し上げます。

2 市長あいさつ

○本田市長

大変ご苦勞様でございます。今日は3月24日。委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、時間を割いてご出席いただいたことに感謝申し上げます。

青年会議所の理事長が変わったということで、小井口幹さんの紹介がありました。新たなメンバーが入り、まさに、令和3年度に入っていかなければならないと思っているところであります。よろしく願い申し上げます。

去る3月2日、遠野高校、遠野緑峰高校の生徒諸君が夢と希望をもちながら巣立っていきました。議会開会中のため、私は対応できませんでしたが、副市長と教育長がそれぞれ手分けをして卒業式に対応いたしました。200名近い方が、夢と希望をもって巣立っていきました。

また、3月の中旬には、中学校、小学校で卒業式が行われ、それぞれ200名近い卒業生の中で卒業式が行われました。コロナ禍ということで、できるだけ来賓は少なくということにはなりましたが、学校現場では、しっかりと子どもたちに向き合いながら、夢と希望の方向を向かった卒業式が執り行われました。

そして昨日は、高校の合格発表が行われました。少子化の中での対応であります。夢と希望をもちながら高校に入ることになります。部活動は何をするのか、ワクワクして4月を待っている状況にあると思います。コロナ禍ということで、しかたない、やむを得ない、やりきれない中で、子どもたちは一生懸命にがんばったわけであり。行政も関係者も、子ども達にしっかりと応えなければならないということを改めて思ったところであります。

昨日、32名の教職員の方が遠野を後にすることになりました。いわゆる市外異動。退職者10名、市外異動者32名の離任式が行われました。新型コロナウイルスが突き付けた、やりきれない思いの中で、悩ましい課題の中に、しっかりと子どもたちと向き合った先生方

の姿があったことを皆様にご報告申し上げます。

コロナ禍ということで、来賓については、私一人でありましたが、先生方には、しっかりとご苦勞様でございましたということを伝え、これからも、遠野の未来を担う子ども達のために、よろしく願い申し上げますということをお伝えしたことをご報告申し上げます。

さて、今日は第6回の総合計画審議会であります。11月2日に及川会長から答申をいただき、付帯意見が3つ付いておりました。市民と一緒に協働で作った計画なので、しっかりと対応した中で、まとめるようにという答申でありました。その内容で、12月市議会では、全会一致で承認されました。令和3年度を初年度とし、令和7年度、2021年度から2025年度までの5カ年間の計画が、皆さんとの本当に真剣な議論の中で、とりまとめることができたが故に、全会一致での承認をいただいたと思っております。心から感謝と御礼を申し上げます。

令和3年度は計画の初年度であり、絵に描いた餅にするわけにはいかないことから、健全財政5カ年計画を策定しながら、それを踏まえての当初予算の編成でありました。173億5,000万円の予算額になりました。大綱別にそれぞれきめ細かく配慮したつもりではありません。限られた財源であることから、少し芽を出す、芽が出た部分はみんなで育てるというような整理をさせていただき、「市民と共に未来へ踏み出す予算」として編成させていただくことができました。

3月12日の日に、全会一致で可決承認をいただいたことをご報告申し上げます。かなり厳しい議論もありました。それを踏まえての可決であったことから、非常に重いものがあると思っております。

並行して、2月19日、各関係団体の皆さんにご説明申し上げました。総合計画は多くの市民の方の協力をいただかなければならないということで、この会場で説明会を開きました。130人ほどの関係者が集まっての報告会でありました。議会終了後の3月15日から17日の3日間は、各地区センターをオンラインで結び、総合計画の説明、予算の大綱別の説明を、約1時間半の時間を取って丁寧な説明会を催したところであります。今日、説明を申し上げますが、手順を丁寧に踏むことができたのも、分科会を立ち上げての真剣な議論があったが故に、このような計画として取りまとめることができたのではないかと思っております。改めて感謝と御礼を申し上げます。

令和3年度を初年度とする5カ年を、タイミングを失しない形で、細かく市民の皆様のニーズに添えていくのかということが問われてくることから、市民の皆様と一緒に、大綱別の課題について、形のあるものに、市民の皆様の期待に応えるようなものにしていかなければならないと思っております。変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、年度末人事を19日に内示いたしました。106人の異動規模であります。適材適所ということで対応しなければなりませんでしたが、実に悩ましい作業ではありました。4月1日付の人事異動も発表し、この3月31日には、定めにより市民センターの小向所長が定年退職となり、我々の仲間から離れることとなります。11地区の小さな拠点づくりの責任者であった小向所長には、頑張っていたいただいたと思っております。

また、東北経済産業局から派遣いただいていた中村産業部長は、3月31日をもって遠野市を離れ、東北経済産業局に復帰することになりました。産業部長として、ノウハウの中で、幅広く活躍していただきました。今度は東北経済産業局で、総務企画部の国際課長に戻ることになりました。引き続き、遠野市の様々な課題に応援をしていただけるかと思っております。皆様にご紹介しながら、ご苦勞様ですと申し上げておきたいと思っております。

最後に、決め手といわれる、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が、4月中旬から本格的に始まることになっています。ワクチン接種対策室で、医師会の先生方、遠野病院の関係者の皆様、様々な形で連携をとりながら、医療従事者、高齢者を優先しながら、ワクチン接種の本格接種の対応が4月中旬から始まることから、ご理解とご協力をいただきますことを合わせてお願い申し上げます。

第6回目となり、令和2年度の節目の総合計画審議会であることから、議論ととりまと

めをいただいた及川会長に心からの感謝と御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

○新田政策担当課長

次に、総合計画審議会の会長であります、及川会長からご挨拶をいただきたいと思います。及川会長よろしく願いいたします。

3 会長あいさつ

○及川会長

及川でございます。年度末のお忙しいところ、審議会の委員の皆様には出席いただき、会長の立場から感謝申し上げます。昨年、この総合計画後期基本計画の策定に参画させていただいて、11月2日に答申をしたところであります。答申については、先ほど市長のあいさつにもありました通り、12月市議会定例会で、全会一致で承認されたということでありませう。関わったものとして、嬉しく、また、安堵の気持ちも湧いております。このように立派な冊子となって計画ができあがったことも嬉しく感じております。後期基本計画がいよいよ4月から初年度となります。令和3年度の予算テーマは、「市民とともに未来へ踏み出す予算」ということであります。事前にいただいた資料を見ますと、市民と共に踏み出すことが、いっぱい盛られていると実感したところであります。私たち審議会も、この計画がより成果を上げ、市民の福祉向上、遠野市の発展につながる計画推進となるよう、審議会の役割を果たしていきたいという決意も新たにしたところであります。今日は、色々説明をいただくことになっていきますので、よろしくお願い申し上げます。

4 委員及び出席者紹介

○新田課長

続きまして、出席者報告及び日程の説明に入ります。本日、委員の皆様のお出席状況は、25名中、代理出席を含めまして21名の皆様にご出席いただきました。ありがとうございます。

なお、欠席の報告に関しましては、5番千葉委員、16番藤山委員、17番赤坂委員、22番佐々木委員となっております。

また、代理出席については、20番県南広域振興局佐々木亨委員に代わりまして、企画推進課長の石木田浩美様にご出席いただいております。

なお、市の出席者につきましては、別添資料の座席表に記載しておりますので、紹介を省略させていただきます。

次に、本日の配付資料について説明いたします。次第、座席表、第2次遠野市総合計画後期基本計画、以上となります。そのほか、事前送付しております。資料No.1 令和3年度遠野市予算概要、資料No.2 各種施策の取組状況について、資料No.3-1 第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略の一部改訂について、資料No.3-2 遠野スタイル創造・発展総合戦略。以上が、本日の資料となっております。不足はございませんでしょうか。

この後、資料に基づきご説明を申し上げ、それぞれ質疑の時間を設ける予定としております。なお、終了時刻は、午後3時ごろを予定しております。

それでは次に、次第5の報告に入らせていただきます。ここからの進行は、及川会長にお願いしたいと思います。及川会長、よろしくお願いいたします。

5 報告

○及川会長

それでは、次第5の報告に入ります。本日は、報告案件が4件用意されております。事務局から順に説明をお願いいたします。

はじめに、(1)第2次遠野市総合計画後期基本計画の策定経過について事務局の説明をお願いいたします。

○新田政策担当課長

(第2次遠野市総合計画後期基本計画の冊子をもとに説明)

○及川会長

ただ今の(1)の説明に関し、どなたかご質問等ございませんか。

(無しの声)

次に、(2)令和3年度予算の概要について事務局の説明をお願いいたします。

○鈴木総務企画部長

(令和3年度遠野市予算概要について、パワーポイント資料と予算増刊号で説明)

○及川会長

ただ今の(2)の説明に関し、どなたかご質問等ございませんか。

(無しの声)

次に、(3)各種施策の取組状況について、事務局の説明をお願いいたします。

○各担当部長

(各種施策の取組状況について、パワーポイント資料で説明)

○及川会長

施策等についてご説明いただきました。このことに関わって、ご質問等ございましたらご発言どうぞ。

○佐藤正市委員

小さな拠点について4ページにあるが、地域担当職員制度と地域貢献制度が示された。まだ具体化されていないと思うので、イメージとしてお聞きしたいが、地域担当職員制度というのは、行政区毎か町毎になるのか。行政区が統合されるが、統合されている行政区毎に、例えば、居住している職員を割り振るのか、それとも、当該地域に市の職員がいない地区もあるかもしれない。どのような場合は地区担当職員が配置されるのかのイメージを伺いたい。

コロナワクチンについて、これについてもイメージだが、健康診断のように、各地区センターでワクチン接種をするのか。もしくは、福祉の里又は遠野病院などでやるのか。地区毎でやるのか、イメージを示していただきたい。

○小向市民センター所長

地域担当職員制度について、地区センターの職員が市の職員から地域で雇用する職員に代わることから、パイプ役となる職員が手薄になることの懸念があり、担当職員を配置することで、パイプを太くしたいという思いの中で配置するものであります。

行政区毎ではなく、地区センター毎に5名程度の配置を予定しています。市職員がいなくなった部分を、地域担当職員制度で補っていく仕組みを作りたいと思っております。

○佐々木新型コロナワクチン接種対策室長

ワクチン接種については、ワクチンが希望したとおり国内に入っていない状況にあります。集団接種については、今の案としては、旧遠野市に一カ所、旧宮守村に一カ所を予定しています。集団接種を基盤としながら、各医療機関で個別接種できるような形を協議中であり、ワクチンの供給量によって、ワクチンはマイナス70度のすごく難しい管理でありながら、2回接種しなければならないということで、通常のワクチン接種のように、医療機関毎に接種できるようなものとなっていません。集団接種と、個別接種をミックスしてやることを予定しています。集団接種は限定的な場所でやることで、調整中であります。

○千葉和委員

2番のふるさとの森を育み木と暮らすまち条例についてお聞きしたい。NPOで森の事に関わっているの、質問させていただく。こういう条例ができたというのを初めて知った。これを見て思ったのは、遠野産材の活用をしていくということだと思うが、なぜ「等」をいれたのかと疑問に思った。最初から抜け道を作ったように思える。なるべく中心として遠野産材を使っていくが、他の物も使うことがあるという意味なのかもしれない。なぜ、あえて「等」をつけたのか意図について質問する。

○中村産業部長

遠野産材は、条例の中で、市内の山林から伐採された木材ということにしています。材の

利用だけではなく、木を材料に作られた、家具を想定して等をつけたところです。

○及川会長

今の説明だと、遠野産の木材を活用した商品を指しているということのようですが、よろしいでしょうか。

○千葉和委員

私の意図したところと違ったので、びっくりしている。遠野から産出した木で作った物に限る、限定するということによろしいか。(その通り)

○及川会長

次の、遠野スタイル創造・発展総合戦略の説明が終わった後に、質問ではなく、感想、あるいは期待感のようなものでも結構なので、発言を希望される方はお願いしたい。

それでは、続いて(4)遠野スタイル創造・発展総合戦略の改定について説明をお願いします。

○新田政策担当課長

(遠野スタイル創造・発展総合戦略の改定について資料で説明)

○及川会長

ただ今のご説明に対し、ご質問はございますでしょうか。(無しの声)。以上、今日予定されていた4件に関わって説明をいただきました。全体として、ご感想、あるいは、新たな仕組みのもとで、スタートを切るものの説明をいただきました。期待もあろうかと思えます。この会議で、閉会予定が3時までにはちょっと時間がありますので、感想なり、期待感を持っていらっしゃる方がおられれば発言をお願いします。

○佐藤正市委員

先ほどのワクチン接種について、旧遠野、旧宮守と病院というお話があった。私たち民生委員は、特に高齢者並びに足の無い方を考える。300万円事業で、検診の時にタクシーを出して助成をしている。先ほどの説明で、旧遠野市が一カ所ということであった。医院といっても、病院のあるところは中心部に集中している。周辺の方から遠野病院又は健康福祉の里に来ることになると、なかなか来れない高齢者、障がい者が多いと思う。新年度から、小さな拠点の事業も始まることから、今さらということになるかもしれないが、例えば、足の確保ができない方への対応を考えていただかないと、予防接種を希望しても、なかなか受けられないということが心配される。回答はいらないが、多くの方が接種を受けられるような工夫をなさっていただきたいと思う。

○佐々木新型コロナワクチン接種対策室長

ワクチンの接種については、無料で、国の負担でやるということになっています。ただし、地域的な条件とか、地域の高齢者の住まいによっては色々あることから、国の方にも要望しているところでもあります。行くための足の確保、そこに多大な経費がかかるとか、タクシーを使うということについては、日常の通院で使用されている方もいるかと思えます。そのような事について、対象者がどれだけいるか調べているところでもありますので、検討していきたいと思えます。

○三浦芳昌委員

観光の話ではなく、危機管理の話をしたい。NHKで、30年以内に宮城県沖でマグニチュード7クラスの地震が発生するという話を専門家の方が話していた。30年以内ということは、今日起きて30年後に起きてもおかしくない状況である。施設の耐震化を考えていかなければならないと思う。学校、老人施設などもろもろ。ここに来る前にネットで調べたが、震度7クラスが起きる可能性があるとしていた。震度7になると建物は壊れ、そこにいれば亡くなるかもしれない。30年後ということではなく、この前も大きな地震が起きた。あながちこの話は嘘ではないと思う。今から準備をしなければならぬと思う。要望として、耐震を調べておいた方がよいと思う。危機管理として、市民の命を守らなければならぬと思うので、今後検討をお願いしたい。

○鈴木総務企画部長

遠野市の公共施設に関しては、ほぼ耐震化の検査は終わっている。修繕等を行いながら補

強等の改修も行っている。それも含めて、施設としてのインフラや河川については、公共施設等管理計画の中で、施設をどうしていくのかを計画しているところである。毎年見直しもしている。今後も、ご意見をいただきながら、見直しをしていきたい。

○臼井悦男委員

参考資料を見ても、遠野市の人口が大切な要素となっているということがよく分かる。要望であるが、遠野市のホームページで毎月の人口、行政区毎の人口が示されている。推移はよく分かる。自分の地域がどうなっているかを確認するためには、行政区ごとの年代別の人口データを、年に一度くらいは載せてほしいと思う。中々どこからも出てこない。年に一度くらいは、年齢別の人口を区毎に載せていただくと、うちの区はこうなんだというように、地域の中の困りごとの解決にどうするかということの話題作りにもなるので、要望させていただきます。

○菊池経営管理担当部長

ご意見として賜った。そんなに難しいことではないと思うので、検討させていただきたい。

○千葉和委員

で・くらす遠野の市民制度の委員で、ワークショップを、去年一年間かけて行動計画をまとめた。これからそれをどうやって、誰が運用していくかということの会議がこの前あった。やるのがいっぱいあって、市民のボランティアレベルでやるのはかなり難しいということで、今年もワーキンググループを作ってやるということになった。人口問題は計画の中でも大きな問題にはなったが、全国どこの市町村も頭を抱えているところだと思う。今コロナの状況で、計画を立てた時と状況が変わってきている。移住を考える人もすごく増えている。市民の各団体のボランティアには限界がある。市としても大事な政策として捉えて人を配置しないと中々厳しいと思った。移住、ワーケーションなど、コロナになって人の価値観もかなり変わってきている。その辺も検討していただきたい。で・くらすの色々な市民の人たちで、議論して作った計画ではあるが、それを市民の有志で頑張ってくださいというのは、かなり無理があるなと思った。市民として頑張って作った行動計画だったので、市としてもバックアップして検討していただければと思う。

○中村産業部長

令和2年度に移住・定住促進行動計画を作り、それを進めていく上で、体制を若干変更するというところで、部会制をとり、前回お話ししたところであります。趣旨としては、市民に負担を強いるというよりは、市と、市民の皆様と協働で協調して進めたいということで、その趣旨がうまく伝わらなかったと思います。市としても、その部分がうまく伝わるよう再度ご相談申し上げたいと思います。

○佐々木弘志委員

中心市街地の空き家が随分問題になっている。密集地に倒壊寸前の建物が大分目につくようになってきた。今年のような雪の多い日はとても危険で、周辺の建物や万が一の人身事故や、安全の問題、衛生の問題、防犯の問題から、早めに手を打っていただきたいと思うので、よろしく願いしたい。

○奥寺環境整備部長

中心市街地の危険空き家については、なぜ空き家になっているかということからすると、相続、権利関係があり、放置されている状況にあります。市としても空き家対策の本部会議や有識者による協議会を作って対策の計画を作っています。特定空き家と呼ばれる危険な空き家については、所有者の方々に措置命令まで出ています。または、法的な代執行という手前の所まで行っている案件も出ています。相手に関しては、金銭的な部分、相続の問題など、理由を聞きながら、相手の方には、自らやっていただきたいということを伝えているところです。不可能であれば、市として法的にやるところまで来ている物件もあります。一般的には周知して、除却しているところも何カ所かあります。本来であれば、そのような方向にもっていききたいところですが、そうでない場合も踏まえながら取り組んでいるところがあります。特に、公共の皆さんに影響のないように、行政としても、道路、建築物、環境な

ど、様々な面で協議し、相手と交渉しながら進めてまいりたいと思っています。

○及川会長

最後に、小さな拠点による地域づくりについて、令和3年度に大きく注目される事業で、関心も高い事業であることから、区長会長である内館会長と、消防団の松田団長から感想、期待感を含めたコメントいただければと思います。

○内館充幸委員

小さな拠点については、今日の説明会まで3回ほど聞いた。4地区が業務委託となるということで、市民協働課のお手伝いでおよそ決まっている。ただし、市民がどれだけ分かっているかは心配である。広報やテレビでお知らせされ、4月から始まることから、概ね推進できたのではないかと思っている。

○松田克之委員

小さな拠点については、消防団編成という計画において、消防団の団員に加入していただけないという現状にある。現在の消防団を維持していくためには、小さくして充実していかないと成り立ちません。災害が起きた時には不備になるということから、このような状況になるとは思う。再編については苦しい内情ではあるが、これからの団員不足を見ていると、これは仕方がないと考えている。消防団の団員の加入不足について、中々若い人の加入が進まないということは、若い人にとって、地域への貢献や名誉はあまり重要視されていないということがある。消防団に加入することで良いことは、現実的には、消防団年金というものもあるが、金銭に関わることなので中々難しいところでもある。消防団報酬の検討もあるので、再考していただければと思う。

○及川会長

予定の時間を若干オーバーしているが、5番の報告は以上としてよろしいか（異議なしの声。）

それでは、審議会を代表して一言申し上げる。本田市長からも冒頭のあいさつの中で、この3月31日をもって退職される職員の紹介もあった。小向市民センター所長、また、その他の職員も6名いらっしゃると聞いている。長年に渡って、市の職員としてご奮闘され尽力し、市政発展に貢献されたそのことに、心から労いを申し上げたいと思う。また、中村産業部長には、4月からは派遣元の東北経済産業局に戻られるということである。これまでの市政発展に力を発揮していただいたことに、審議会の立場からも感謝申し上げる。4月は、新たなそれぞれのスタートということになるが、ご健勝で更なるご活躍をご期待申し上げます。以上で会長の役割は閉じさせていただく。ありがとうございました。

○新田政策担当課長

ここで市長から御礼のご挨拶を申し上げます。

○本田市長

皆様には、大変お忙しいところ、活発な議論を交わしていただきました。及川会長をはじめ、各委員の皆様にも重ねて御礼と感謝を申し上げます。総合計画は基本計画であります。基本計画として5つの大綱に基づいて、皆様にはしっかりと柱をたてていただきました。5つの柱の5つの部屋を、洋間にするのか、畳にするのか、カーテン、電気、照明はどのようにするのかを、市民の皆様と共に1年、1年検証しながら完成させていかなければなりません。また、進めなければならないと思っております。

去る20日の日、7月25日にオープンを予定している「こども本の森遠野」について、市民の皆様が市民に呼び掛けてということで「こども本の森遠野を語る会」が開催されました。その報告を受けました。70名以上の若い方が集まって大変活発な議論がされております。また、オンラインでも50名が参加されたということを知り、本当に嬉しく思ったところでもあります。市民が市民の皆様にも声をかけて、どうするんだ、どのように育てていくんだ。どのように守っていくんだ。そのような事を話し合う、本当に気持ちの良い話をいただきました。今の時代は、そのような中で、市民と共に未来に踏み出すという予算に位置付けたことに、市民が応えてくれ、大きな手応えを感じたことを申し上げ、総合計画を一つ一つ進行

管理し、私どももしっかりとした緊張感をもって課題に向き合うことになろうかと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルスが退散し、出来ればオリンピック、パラリンピックもという中で、この前、日本のふるさと遠野まつりをどうするんだという話がありました。会長の立場で、やるんだということを言いました。やらなければならないという気持ちで取り組まなければ、コロナに振り回されるわけにはいきません。しっかりと向き合いながら跳ね返しましょう、と呼びかけたところであります。皆様方には更なるご協力をお願い申し上げて、感謝の言葉にさせていただきます。ありがとうございました。

○新田政策担当課長

以上を持ちまして、令和2年度第6回総合計画審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。